

2019年度 福祉事業部全国リーダー研修会報告

開催日：2020年3月6日（金）

会場：Web会議（大阪府栄養士会事務局にて）

2019年度福祉事業部全国リーダー研修会は、この度の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、福祉職域代表者のみでWeb会議にて開催された。

参加者は、全国47都道府県より37都道府県の各代表37名であった。初めてのWeb会議での開催となり、当初2日間の日程が半日で行われた。（公社）日本栄養士会福祉職域担当理事

加藤すみ子氏より、2019年度事業報告及び2020年度の事業計画（案）が示され、承認可決された。合わせて、2020・2021年度福祉事業推進委員会委員の選任および事業推進委員会委員長ならびに職域担当理事の推薦について報告された。

また、福祉事業推進委員 渡邊恭枝氏より、「ほっこり・ふれあい食事講座」のモデル事業を実施した川崎市と宮崎市の事例報告があり、高齢者と子どもとの地域のふれあいを通して、高齢者の抱える孤食、低栄養、フレイル対策、閉じこもり予防につながり、適切な栄養管理、高齢者の役割・生きがいを持って生活できる社会につなげていくためには、管理栄養士・栄養士がコーディネーターの役割を果たし、行政や関係団体への協力と栄養ケアステーションとの連携・協働が不可欠である。また、この事業を全国へ展開させていくことで栄養士の見える化につなげていく。

1.活動方針

2020年度は、高齢・障がい・児童の各分野において栄養ケア・マネジメントの標準化による質の高い栄養ケアの実態形成を推進するとともに、介護報酬および障がい福祉サービス等報酬改定に向け福祉職域における管理栄養士・栄養士の仕事を評価していただくための要望活動を行う。また、生涯教育の一環としてスキルアップ研修（初任者研修）を充実させることにより、認定や専門管理栄養士へのステップアップを目指すことを基本とする。

高齢では、栄養情報提供書の更なる普及により、医療や在宅との情報交換システム構築を推進するとともに、介護保険施設における栄養マネジメント関連のエビデンスの構築についても取り組む。

障がいでは、効果的な栄養ケア・マネジメントの推進に向け、各種調査結果からの課題整理を行いフィードバックしていく。

児童では、児童福祉施設において求められる管理栄養士・栄養士を目指し、質の高い栄養ケア・マネジメントスキルの標準化を推進していく。

これらの目標を達成させるため、活動目標を掲げ、国民の福祉、健康増進に寄与し、健康寿命の延伸を図ることを目的に各種事業を展開する。

<活動目標>

- ・介護保険施設の栄養ケア・マネジメントの質の確保および医療や在宅との連携強化
- ・障がい者施設における栄養ケア・マネジメントの充実と報酬算定率アップ
- ・子育て支援・食育の実践と充実
- ・福祉ネットワークによる迅速な情報伝達
- ・地域ケア会議や介護予防事業への積極的な参加
- ・関連機関および団体との連携と社会活動への参加を積極的に推進する

2.具体的事業

(1) 事業の円滑な遂行

①全国リーダー研修会の開催

開催時期、場所や方法（Web会議等）について検討中（アンケート実施）

②福祉事業推進委員会

各事業の推進のための企画および運営についての協議を行うため年4回開催（うち2～3回Web会議）する

(2) 専門性の向上と充実

①全国福祉栄養士研修会

2020年8月22日（土）・23日（日）

大阪市・グランキューブ大阪

②スキルアップ研修会（初任者研修）

詳細は、「日本栄養士会雑誌2月号」及びホームページに掲載

(3) 政策事業

「障がい者支援施設及び福祉型障がい児入所施設における栄養ケア・マネジメントを効果的に実施するための事例集及び生活介護事業所における栄養支援のあり方に関する手引書作成（2019年政策事業からの継続事業）

(4) 社会活動への推進事業

①「日本栄養士会雑誌」に福祉栄養士の

活動内容を掲載

②日本栄養士会ホームページに各種情報を

掲載

③E-mail 配信による情報共有

④ほっこり・ふれあい食事講座（全国展開への協力）

(5) 管理栄養士専門分野別人材育成事業

厚生労働省の委託を受け、医療機関や介護事業所等において多職種協働による栄養ケア・マネジメントについて、高度な専門性を有する管理栄養士の育成を行うことを目的として、まずは栄養ケア・マネジメント指導者育成のための研修を行い、2020年度以降の全国展開での研修会を開催し、全ての栄養士のスキルアップを行う。

（文責 福祉 高田敬子）